

ワールドの丘

2013
12月
No.27



目次

みことば・きらりん	2
巻頭言	3
ヴォイス(1)	4
おでかけ・できごと	6

ヴォイス(2)	8
ぽっかぽか	10
ぴかぴかぴか・人事	11
行事予定・編集後記	12

社会福祉法人 聖母の騎士会
恵の聖母の家
児童発達支援センター めぐみ

みことば

わたしたちに特別な好感を抱かせ
ごく自然な愛を感じさせる人は
わたしたちが会うすべての人々に適する
愛の尺度を与えてくれる

—マドレーヌ・デンプレル—



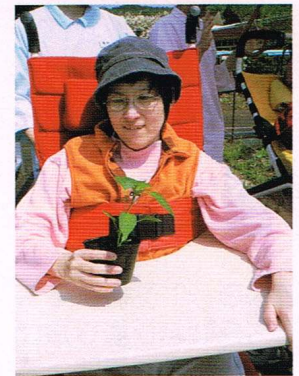
きらりん☆ ネイチャーレク

ネイチャーレクを開始して3年が経ちました。日々、屋内での生活が主となりがちの中で、野外に出て自然に触れることで気分転換やリフレッシュになるのではという考えから、この活動を始めました。

開始当初は園庭内の自然散策を中心に行っていました。利用者は職員玄関を出ると緊張していた表情が一転して穏やかになり、周囲をきょろきょろと見回している様子が見られ、また、ある利用者は外の木の実を目の前にかざすと、口を大きく開けて食べようとする動作がみられたりと、自然の草花に触れて楽しんでいるような姿がみられていました。

年度がかわるごとに評価を行い、少しずつ参加メンバーの見直しを行いました。今年度は同じく屋外での活動を主とする園芸クラブと統合して新たにネイチャークラブとして活動を始めました。茄子やかぼちゃ、じゃがいもの苗植えをメンバーで行い、8月には収穫祭を開催して食べてみのりを楽しみました。5月には、雨天でしたが、病棟ホール前でシャボン玉遊びを行いました。飛んでくるシャボン玉をじっと見たり、笑顔で笑う方もあり、それぞれが楽しんでいるようでした。

これから本格的な冬に入りますが、自然の中で触れ合うことができる、そういった雰囲気作りを行いながら、個々のニーズを大切に活動を展開していきます。
(介護福祉士 小林 薫)



表紙写真は家族の日ファミリーフェスティバルでの野津高校親和太鼓の演奏の様子です。

巻頭言

施設長 佐藤圭右

十一月は、芸術の秋、食欲の秋、読書の秋ですが、勉強の秋でもあります。しかし、今年ももう秋もどこに行ったのかと思えるくらいの勢いで冬に代わろうとしています。

その勉強の秋、九月、十月は、多くの学会や研究会がありました。重症心身障害関係でも、九月末に栃木県宇都宮市で日本重症心身障害学会、十月第一週は千葉県千葉市で重症心身障害療育学会、第二週は宮城県仙台市で全国重症心身障害日中活動支援協議会がそれぞれ開かれました。

では、その学会で何をやるのでしょうか？学会とは、インターネット上での百科事典、ウィキペディアによりますと、「学問や研究の従事者が、自己の研究成果を公開発表し、その科学的妥当性をオープンな場で検討議論する場である。また同時に、査読、研究発表会、講演会、学会誌、学術論文誌などの研究成果の発表の場を提供する業務や、研究者同士の交流などの役目も果たす機関でもある。」とあります。恵の聖母の家からも、スタッフの皆さんが日頃研究してきたものを発表すると同時に、他の施設の皆さんと様々な意見交換をし

てきました。

では、研究とは何でしょうか？

同じくウィキペディアでは、「ある特定の物事について、人間の知識を集めて考察し、実験、観察、調査などを通して調べて、その物事についての事実を深く追求する一連の過程のことである。」とあります。

ちょうど、昨日(十一月二十一日)、恵の聖母の家研究発表会が施設内の大会議室でありました。その中の一例を簡単に紹介します。

Aさんは、昔から食べたものを口の中、または外に吐いて、口の中のものはまだ飲み込む(反芻・はんすう)という「クセ」がありました。しかし、スタッフの一人は、それがクセなのか、やめさせることができないのか、考えました。そのためにいろいろと本などで調べました。例えば本人自身の力で食事をとること、例えば音楽を流すなど環境を変えること、例えばスタッフが声掛けをすることなど、他のスタッフと協力して様々な試みを行いました。その結果、完全ではありませんが、反芻を減らすことができました。

普段の疑問、困りに気づき、現状を詳

しく調査。それを解決するための方法を調べ、それを実践し、効果を調べ、それが良かったかどうか考えをまとめる。それが研究だと自分では考えます。

もちろん、昨今は利用者さんの人権についての意識が高まっており、研究という名の下の、人体実験があることは許されません。先ほどの反芻を減らそうという工夫も、決して思い付きではなく、過去の報告を元に試みられています。ちなみに恵の聖母の家では、今年から倫理委員会を規定とともに設置し、研究内容も審査することになっています。

利用者さんの困りに気付くこと、困りを解決するために自主的に調べること、多くのスタッフ、職場の仲間と協力して物事にあたること、結果について反省すること、など、いずれの項目も、この施設の職員さんとして、とても大切なことです。

結果的に「研究」と言われますが、実は常日頃からスタッフの皆さんは実践していることかもしれません。もっとも皆さんで「研究」を行い、多くの利用者さんの困ったを解決して、笑顔を引き出していただきたいと思えます。

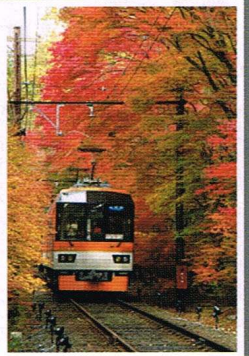


医局

京都回顧録

二〇〇五年十一月 鞍馬山

小児科医 長倉 智和



朝晩めっきりと冷え込み始めた。しかし、寒暖の差が激しいと紅葉もまたきれいに色づくため、この年の気象は好条件であった。私たちの家族は、鞍馬山へ紅葉狩りに出かけた。

歴史が好きな人ならば、「鞍馬山」と聞くと「源義経」を連想するかもしれない。「平治の乱」で敗死した源義経には幼子がおり、その一人である牛若丸(後の源義経)は鞍馬寺へ預けられ、僧侶となるべく十年間修行をする。その時に、厳しい修行と並行して、鞍馬山に住む「鞍馬天狗」から、武芸を習ったといわれている。この年、NHKの大河ドラマで「義経」が放送されたこともあって、多くの観光客が鞍馬寺を訪れていた。

観山電鉄に乗り、終点の鞍馬駅で下車。大きな天狗のお面が、私たちを出迎えてくれた。人波に身を任せながら参道を進んでいくと、真っ赤に染まった紅葉



の中から、山門が突如姿を現し、古寺と紅葉が見事に調和、錦を織りなしていた。紅葉を下から見上げると、太陽の光がやわらかに差し込んで一葉一葉が鮮やかな光を放つ

ていた。「こんな綺麗な紅葉初めて...」思わず言葉を失った。

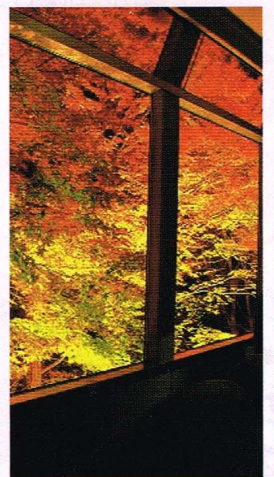
ケーブルカーに乗って山を登り、さらに山道を歩くこと数分、ようやく鞍馬寺本堂へと到着した。たくさん参拝客に紛れ、私たちの家族も心静かに手を合わせ参拝した。周囲は線香の煙と匂いに溢れていた。色鮮やかな紅葉に囲まれながらも本堂は霊験あらたかな雰囲気満ちていた。



本堂参拝を終えた後、帰りは徒歩で山道を下っていくことにした。「下りなので楽だろう。」と安易に考えていたのが大誤算、傾斜がきつく何度も何度も折り返す坂道では、足を滑らせないよう、かえって膝に力が入ってしまう。やっと、山門にたどり着いた時には、膝がカクカクと笑っていた。これぞ、清少納言が『枕草子』で「近うて速きもの」と書いた、九十九折りと呼ばれる曲がりくねった参道なのであった。

鞍馬駅に戻ったのは夕方の六時頃、あたりはもう真っ暗であった。帰りの電車の中、思わぬサブライズが私たちを待っていた。鞍馬駅 貴船駅の間で、電車が徐に速度を緩め、突然車内の照明が消えたのである。暗闇の中、驚きの声があがるが、それはやがて歓声へと変わった。窓の外に、ライトアップされた紅葉が闇の中から浮かび上がってきたのだ。ローカル線ならではの粋な演出であった。私たちは、他にもいくつか紅葉の名所を訪れ、晩秋の京都を心ゆくまで堪能した。「次の週末も紅葉見に行きたいね。」「うん、またお出かけしようね。」夢のような時間であ

った。しかし、数日後、大陸から下がってきた寒気が、京都に大雪をもたらした。夜のニュース番組では、雪化粧した金閣寺から天気予報が中継された。紅葉は無残にも散り、京都の秋はあまりにも突然に終りを告げた。



栄養課

研修で

学んだ事

栄養課 阿南 まみ

九月に日本重症心身障害学会学術集会、十月に全国重症心身障害児者施設職員研修会に参加しました。学術集会では医師、看護師を中心に講演、シンポジウム、スライド、ポスターなど様々な形式の発表がありました。私は主に摂食嚥下、体重管理、微量元素、食中毒等、栄養に関する研究発表を聞きました。栄養士の発表は、看護師が中心だったので、着目視点が難しい部分もありましたが、食事形態や経腸栄養剤の話等管理栄養士として知っておかなければならない知識も多くあったと思います。

十月に行われた大阪研修では特に栄養士で行った分科会討議がとても勉強になりました。討議の内容の中には『摂食嚥下困難食の調理について』という項目がありました。嚥下機能や咀嚼機能が低下している利用者には食事形態の改善が必要になります。摂食嚥下困難食として、呼び

方は施設によって様々ですが、ソフト食、まとまり食、ゼリー食等を取り入れている施設が多くありました。食形態を変えようとした時、食材の大きさに注目し大きさを小さくすればいいと思いがちですが、そうではなく、やわらかさやまとまり、適度な付着性を考える事、また食形態は落とすのではなく本人に合わせるというのがこの摂食嚥下困難食の特徴でありメリットだと思えます。他の施設の取り組みはとても参考になりました。そして栄養士は利用者の事、調理の現場の事、病棟内の事をもっと知り、調理師や病棟スタッフの方たちとのコミュニケーションをとる事も大事だと感じました。私はまだ日々の仕事を覚えてこなしているという状況なので、他の栄養士の方が「目的を持って毎日の食事を提供し、その方にとってより良いものを」という意識を持って日々仕事をしているというお話を聞いて、少し意識が高まりました。まだまだ迷惑をかける事が多く、いつも栄養課の方たちに助けてもらってばかりですが、今後は栄養課の方たちだけでなく、全スタッフと意見の交換や質問等が出来る関係が築けていけたらと思います。



看護



趣味について

看護師 飯倉 啓介

今回、私の趣味について書かせて頂きます。私が一番好きな事は旅行です。最近行ったのは沖縄です。最初に世界遺産である首里城に行きました。とても日本の城とは思えない中国の築城文化の生きたハイブリッドな城でした。次に向かったのは、美ら海水族館です。そこで初めてジンベイザメを目の当たりにしました。大きいだけでなく、巨大水槽の中を堂々かつ優雅に泳ぐ、その様は海の世界での荒川静香さんと言ったところでしょうか。とても印象的でした。

最後に向かったのは万座毛です。そこは断崖絶壁です。恐怖心が込み上げる中、そこから見る海は絶景でした。販売員の方は笑顔で値引きをしてくれて、最後に「またおいで。今度は新婚旅行で」と言ってくれました。私はその言葉に温かさを感じ、沖縄は気候だけでなく、人の心までも温かいのだと思いました。

私は旅行を通して色々な事を感じました。色々な事を感じることで、新しい自分を見つける事ができるのかもしれない。今後も感性を磨いていけたら良いなと思います。

生活課 福祉



のぞみの丘

小グループ活動を

取り入れて

大津留 佳恵

のぞみの丘では二〇一三年度より、個別支援計画書に記載している個々のニーズに沿って二十四名の利用者者を四から六名のグループ分けをしました。グループの活動内容は、制作、音楽、健康体操、本の読み聞かせ、手浴・足浴グループをつくり、月一〜二回行っています。

では、各グループを紹介させていただきます。まず、制作グループですが、季節の歌を壁面制作活動として行っています。中でも、紙やぶりのりづけ、色ぬり等に対し、意欲的に取り組んでいる姿が印象的です。出来上がった作品は、のぞみの丘七号室に掲示しています。

音楽グループは季節の歌やメンバーの好きな歌を歌ったり合奏をしています。また、わらべうたで遊んだり、カラオケやトーンチャイムを楽しんだりもしています。利用者は音楽を聴きながら、手や足を振ったり、音の方向をみたりと、自己表現してアピールしています。健康体操グループは全身のマッサージやタッピング

グを行った後に、スカイバルーンで風を感じています。利用者はとてもリラックスした表情をしています。本の読み聞かせグループは種々な物語や紙芝居を読んでいます。読み手の口調、表情など表現力を利用者は耳を傾けながら興味津々な様子がかがえています。

手浴・足浴グループはリラクゼーション効果の音楽を流し、色々なおいの石けんや入浴剤を使って、手を洗ったり、足浴をして過ごしていますが、あまりの気持ち良さに眠ってしまう利用者もいます。

グループ活動を取り入れていくうちに、もっとこの方はこうしたら喜んでくれそう、この利用者の方はこんなことができそうと新たな発見もあります。そして何より、利用者の方々が喜んだり快適に過ごしている様子を一人ひとり表現してくれることが支援者としては嬉しく思います。

今後は季節を感じたり、五感を刺激することで、より快適で、日々充実した生活が送れるよう支援していきたいと思えます。



2013年8月1日(木) ふれあい交流会

今年も支援学校の先生、恵の聖母の家の訪問学級の生徒と一緒に交流会があゆみの広場で開かれました。今回は生徒たちもたくさん来てくれて、訪問学級の生徒も嬉しかったことと思います。訪問の生徒の挨拶に始まり、おみこしがいたり、先生方の生演奏、そして生徒たちが披露してくれたよさこいソーラン等、とても楽しい内容でした。夏休みの児童にとっては、大好きな先生とゆっくり過ごせる時間ともなっていました。支援学校の皆さまありがとうございました。



2013年8月15日(木) 聖母被昇天・故利用者追悼ミサ

交流ホームで潔き聖母の家、恵の聖母の家、センターめぐみ、その他の皆さまとマリアさまにお祈りを捧げました。この日は聖母マリアが天に上げられた日とされ、日本では終戦の日、お盆でもあり、亡くなられた施設関係者の方にお祈りを捧げています。神父様からは、「マリアさまだけでなく、私達も天に上げられて永遠の命を得ます。早く亡くなる方もありますが、私たちは永遠に輝くために生まれてきた大切な存在なので、皆、お互いを大事にしましょう。愛徳と奉仕をすることにより、皆、神の報いを得ます。人のため、働く人のためにもっと寛大で思いやりのある人になりましょう。人のことをよく考えていくことは、それによって神の憐れみを受けてよりよくなっていくことになるのです。」と話して下さいました。

2013年8月22日(木) 全体研修(権利擁護)

大分県福祉保健部障害福祉課障害児支援班課長補佐の佐々木裕仁さまをお招きして、「施設、事業所における障がい児・者に対する虐待防止について」と題して、2階会議室にて講義していただきました。当施設職員以外に、潔き聖母の家の職員の方も一緒に学んでいます。

過去の事例を振り返りながら、また福祉やその制度の流れに沿った講演で、参加者からは「何気ない行為も第三者の目にはどのようにとらえられるかに気付かせていただいた」「自分自身の行動を見つめ直すきっかけになった」「虐待のニュースは聴くが、資料を通して詳しい内容がわかった」「気をつけないといけない言動に改めて気付かせてもらった」「現在の法律等も学べて今後につなげていけると感じた」「虐待を行うことは誰にでも起こり得ると感じた」「利用者の立場になって介助する」「自分の感情をうまくコントロールすること」等の感想がありました。

今後も人権に注意して、よりよい支援につなげていく機会となりました。佐々木さまに改めてお礼を申し上げます。

★お詫びと訂正

ルルドの丘第26号で、「テレビ番組で動物ふれあい活動が放送される日」をお伝えしておりましたが、放送日が延期となりました。訂正してお詫び申し上げます。

2013年6月22日(土) ふれあい運動会

“明日に向かってLet's go”をテーマに、交流ホームで開催しました。競技は『大根を抜いて得点を競うもの』『予想した天気に合わせて衣装を身につけてカードを使って天気を当てるもの』『決められたところから開かれた傘に玉を入れるもの』等で、最後のダンスは“365歩のマーチ”を皆で楽しみました。今年は赤143点、白140点の接戦で赤組の優勝となりました。閉会式では副施設長から「大根はもっと持ちやすく」「天気はもっと当たるように」とユーモアたっぷりなお話があり、会場も楽しい雰囲気となりました。めぐみ会会長様からは「アイデアあふれる競技が多くて良かった」「来年もアイデアあふれるものを」との評価をいただきました。

運動会には野津中学校、野津高校、藤華医療技術専門学校、臼杵市社会福祉協議会、大分大学の皆さまがボランティアとして参加して下さい、会の運営や進行がとても助かりました。改めてお礼を申し上げます。来年も皆元気に出場できますように。

2013年7月27日(土) ボランティア公演

別府大学短期大学部人形劇団マーブル公演
今回は“南の島へとんていったバナナ とんほとともに”の上演がありました。その内容は、①オープニング②小さなパペットでの挨拶③ミュージック・パペット(音楽に合わせて歌やダンス)④よしあわせなら手をたたこう⑤マーブルのテーマ曲⑥おわりの言葉、でした。②では、ピアノの調べとダンスのお姉さんの手の動きがとても良く、⑦ではバナナについて質問が出されて、観ている側もとても参加しやすい内容でした。最後はパペットが会場を回り、人形に扮した会場の方も笑顔や緊張した表情をみせてくれました。お別れの時はマーブルの皆さんが出口で参加者を見送って下さり、参加されたお一人ひとりが楽しく帰られたようです。マーブルの皆さんは普段は保育園や幼稚園でのお泊り会、夕涼み会、クリスマス会、それから城島後楽園遊園地イベントでも活動されています。これからもこの活躍を期待しています。



2013年9月26日(木) パークプレイス大分

表情が良く、活動中、ずっと笑顔だった方、買い物リストをもとに訓練課の実習生と買い物を楽しまれた方、ご両親の参加をとても喜んでずっと笑顔を見せていて、購入した物を身につけても嫌がらず、商品にも手を出さずに落ち着いて過ごされた方、レストランでオムライス等を美味しくいただいた方等、いつもとは違う雰囲気を楽しまれました。パークプレイス大分の皆さま、ありがとうございました。



2013年10月1日(火) 室内レク

施設の外での活動が難しい方を対象にしています。今年はマッサージを行いながら、ちぎり絵、外気浴をしています。筆と一緒に来年度のカレンダー作りを行い、気持ち良さそうな表情を見せて下さっていました。



2013年10月10日(木) 原尻の滝

ご家族と合流して散歩や買い物を楽しまれた方、到着後は川のせせらぎに目をしっかりあけて、帰るまでよく起きて過ごされた方等、周囲によく目を向けられて自然の雰囲気を楽しまれたようです。関係者の皆さま、ありがとうございました。



2013年10月24日(木) パークプレイス大分

到着後、身体に力を入れて声を出して喜びを表された方、関心のあるDVDの購入の際はすました顔をみせて、昼食では大好きなハンバーグを食べて、支援者が食事の時は笑顔で手をつかまえてとても楽しいという様子でした。他にも、買い物ではぬいぐるみを抱っこして頬ずりして可愛がったり、店員さんの声かけに喜ばれていました。また、会計の時は商品の受け渡しがきちんとできた方もおられました。今回、初めて活動に参加された方も欲しい商品の前で笑顔を見せていました。パークプレイス大分の皆さま、ありがとうございました。



2013年10月31日(木) マルシヨク臼杵店

車の移動中も目をよく開けて、お店では商品が示されると少し身体を動かしてくれた方、うなずきや指さして衣類を自分で選ばれた方、逆に首を振って「いやいや」と声を出された方もおられました。車内では表情をこわばらせていた方も店内では商品によく目を向けて買い物を楽しまれました。その他、買い物よりも移動の時の車内からすれ違う車に関心があった方もおられました。マルシヨク臼杵店の皆さま、ありがとうございました。



施設外療育

2013年5月23日(木) 津久見イルカ島

はじめての活動となっています。現地ではイルカのショーもあり、利用者の方は、イルカのジャンプ等、力強い技を楽しみました。ショーの後は、イルカに直接触れるコーナーもあり、車椅子から身を乗り出して、触ろうとされたり、エサも上手くあげることができて、嬉しそうにされていました。昼食ではレストランで「マグロカレー」を注文して美味しくいただきました。館内では玩具等の販売もあり、そちらも楽しまれていました。



2013年5月30日(木) 臼杵石仏

ご家族の参加もあり、楽しい雰囲気の中で利用者から「かーちゃん」という言葉も聞かれました。ソフトクリームを口にされると、冷たかったのか、表情が固まってしまった方、散策のコースを歩行の練習として過ごされた方等、五月の季節を楽しまれました。



2013年6月27日(木) 明野アクロス

車椅子で店内を移動する時も楽しそうで、声かけに相手した支援者の腕を嬉しそうに握ったり、昼食もオムライスや大好きなお餅を美味しくいただいた方、時々、下を向くものの、服を選ぶときははっきりと返事して笑顔を見せてくれた方、買うものを事前に選んでおり、購入後は自分で持って満足される方と様々に楽しまれました。明野アクロスの皆さま、ありがとうございました。



2013年7月11日(木) マルシヨク臼杵店

ご家族で参加された方で、帽子を示されると「いやいや」と、やや緊張されていた方もおられたようですが、服や玩具を自分で選ばれた方、示された商品に笑顔で応えた方、エレベーターの移動ではやや驚かれた感じでしたが、徐々に落ち着かれた方と、それぞれ雰囲気を感じ取られました。マルシヨク臼杵店の皆さま、ありがとうございました。



児童発達支援センターめぐみ

児童発達支援センター

めぐみの夏

センターめぐみでは生活介護の方と放課後等デイサービスの利用者の方が日中と放課後の時間に利用されています。土日に関われる施設行事、そして学校がお休みの時は一緒に過ごすことも多くあります。施設行事も含めてセンターの出来事をご紹介しますと思います。

六月 ふれあい運動会

生活介護から七名、放課後等デイサービスから二名の方が参加されました。競技は「晴れ」「雨」「雪」等のお天気を予想してそれに合わせて衣装を着ける内容で、皆さん、楽しみながら衣装を身につけていました。アンカーとなった方は特に慎重になっていたようです。今年初めて参加される方もご家族と過ごす良き時間となったようです。

七月 ボランティア公演

今年はフラダンスの方が二名来所されて、素敵なダンスを披露して下さいました。この日は夏休み期間でもあり、ゆったりとした優しい音楽や素敵なダンスに、児童の方もじっと目を向けてたり、驚いたような表情を見せてくれたりと、おおいに楽しみました。公演の後には一人ずつ記念写真を撮って頂きました。嬉しそうにされる方、恥ずかしそうにされる方、いろんな表情をみせてくれました。ボランティアの皆さま、ありがとうございました。



八月 アイスクリーム作り

「夏の季節感を感じ、冷たいアイスを手作りすることで、作る楽しみ、味わう楽しみを」ということで栄養士の指導の下、皆で作りました。牛乳と氷、そしてアルミの容器等を使って、牛乳の量や冷やし方に注意しながら行いました。牛乳をアイスにするために、牛乳の入ったアルミの容器を氷の容器の中に入れて振る作業があり、支援者と一緒に容器を振ると、とてもいい笑顔を見せた方、もちろん、いただく時に笑顔を見せた方と、それぞれに楽しい活動となりました。

九月 家族の日

ファミリーフェスティバル

センターから八名の参加があり、カラオケのコーナーでは四名が出演しました。今回は♪オー・シャンゼリーゼの曲を選んで、水玉模様の傘やバルーンを曲の流れに合わせて動かす形でダンスをしました。利用者の方もステージでは身体に力を入れて、一生懸命な様子が伝わってきました。会場からも応援があり、施設長から「輝く笑顔だったで賞」をいただき、こたができました。皆さま、ご声援ありがとうございました。



十月 外出

生活介護の利用者の方の社会参加として、「近郊の公共施設を利用して親子で買い物を楽しむ」「レストランで食事をする」を目的に、大分市の複合型商業施設に出かけました。好きな服を買ったり、寒い時期に向けてニット帽を試着したり、店員の方からの声かけにいつもと違う表情をみせてくれたようです。レストランでは、食べやすいように事前にメニューを注文し、刻み等、食べやすくしてもらって、気持ちよく外食の雰囲気味わうことができました。参加されたご家族同士でもお話がはずんで、良い機会となったようです。ご協力いただいた関係者の皆さま、ありがとうございました。

十月 ハロウィン

支援学校がお休みの十月二十一日に、レクリエーションの中で素敵な衣装を身につけて、ハロウィン気分を味わいました。曲に合わせた楽器の演奏や福祉レクダンスでは「ゲゲの鬼太郎」の曲に合わせて車椅子等のダンスを行いました。「かわいいて」との声かけに得意な表情を見せてくれるお友だちもいました。



十一月秋のふれあい

「利用者ごと家族がゲームを通して交流を深める」「利用者ご家族同士の交流を働きかける」ことを目的にレクリエーションを行いました。会場には、輪投げ、シャッフル&ゴルフ、ダーツ等のコーナーを配置し、皆さんに自由に行ってもらいました。得点もあって、総合得点で優勝も決めたのでおおいに盛り上がりました。優勝された方は表彰の際に背筋をのびし、景品も手にして得意な様子でした。

※この欄は松山が担当しました。



訓練



～人との出会い～

理学療法士 日高 亮

みなさんは、出会いを大切にしていますか？わたしは、今年の四月から恵の聖母の家に就職し、たくさんのお会いを経験しました。それは、利用者やそのご家族の方、共に働く職員のみなさんとの出会いです。たくさんの人たちとの出会いは、わたしに多くの刺激を与えてくれました。

就職して半年が過ぎ、利用者の方々の訓練をさせていただく機会が増えてきました。そのなかで、自分の姿が見えたり声をかけたりすると、利用者の方が笑顔で応えてくださることが多くなってきました。わたしは、その瞬間をとても嬉しく思います。自分が関わること、その人の生活のなかで笑顔や幸せと考える時間が少しでも増えたのかなと感じるからです。そうすると、日々の何気ない関わりは決して小さなことではなく、その人の人生にとって大きな出来事なのだと思えるようになります。利用者の方々と関わることで、わたし自身も喜びを感じられる時間が増えていると感じています。

また、ご家族の方々や職員のみなさんと関わる際にも、同じような喜びを感じます。それは、さまざまな場面で頼りにされたときです。訓練に関しての相談や要望など、必要とされることが少しずつ多くなり、自分の訓練を受けに遠くから足を運んでくださる外来の利用者の方もいます。わたしは、人から必要とされることは、とてもありがたいことだと思っています。

時には悩んだり、大変だと思ったりすることもありますが、喜んでもらえたときの達成感、わたしの日々の活力となつていきます。期待に応えようといつも以上に頑張れる気がしてきます。わたしは、たくさんの人と触れ合えるこの仕事に就いて、良かったと思えます。恵の聖母の家に就職して、日々与えられているものの多さに気付かされました。たくさんのお会いのなかで、何気ない出来事がとても幸せに感じられるようになったと思います。これからも周りの人に支えられながら、たくさんの方々の笑顔や幸せを感じていきたいです。みなさんも、人との出会いのなかで自分なりの幸せを感じてみてください。



洗濯



我が子よ

井野上 育子

ここ二年間でいろんな事がありました。去年の四月、義母が脳梗塞で他界し、九月に滋賀県に嫁いだ娘に九んぶりに子供が生まれました。しかし、孫が三カ月頃、子育てでいきづまったのでしよう。泣いて電話があり、次の日、急ぎよ職場の方に勤務をかわって頂いて、臼杵からフェリーで四国へ渡り、岡山―神戸―滋賀へと車で十時間の道のりを走りました。

あれから一年。孫も一才になり、子育ても落ち着いたのでしよう。ひと安心です。又、今年の十月には長男が結婚します。十年間付き合ひ、やっとお祝いができ、ほっとしています。お嫁さんも素朴な人です。可愛い我が子を選んだ人だから仲良くしていかねければと思っています。最後に思う事は…、孫も可愛いですが、自分の子供が一番ですね。その次は孫。残りの人生を考えると、明るく笑って喜び一日にしようと思えます。



こばなし

十月二十七日に下藤地区キリシタン墓地で追悼を目的とした「ミサ」がありました。その時に大分教区の司教様と臼杵市役所職員で教育委員会の文化財課に所属されている調査担当者の説明がありました。それによると、大正時代には墓地として知られており、それが今回の発掘で四百年以上前のキリシタン墓地であることが明らかになりました。

平成二十二年に臼杵市教育委員会が実施している発掘調査で、この遺跡はキリスト教信仰が認められていたキリシタン時代の墓地であることがわかりました。この墓地の調査で、お墓の他に礼拝堂や千十字架（かんじゅうじか）墓地に立っている十字架）などの遺構が見つかっています。こうした施設が発見されたのも日本で初めてのことです。

これからも日本のあちこちで、これに似た遺跡が発見されることがあるかもしれません。その時にこの下藤キリシタン墓地発掘調査の成果が大いに役立つことが期待されています。キリスト教の考えでは、霊魂は不滅で、永遠の命を神より与えられて天国へ行く、ということなのです。

(熊川 シメ子)



保護者の皆様から



一歩ずつ

中武 明美

和樹は我が家の6番目の末っ子小学1年生。今年の春からスクールバスに乗って、臼杵支援学校に通っています。入学するまでは、家で過ごす事が多く、外出は病院かショートステイの利用時に『恵の聖母の家』に行くだけでした。季節の変わり目に喘息が出たり、熱が出るので外で過ごす事はほとんどありませんでした。

入学してからは、スクールバスでの通学、外で運動会、バスや電車を利用しての校外学習と、和樹にとって全てが初めての事ばかり。しかし、親の心配をよそに、和樹はどんどんたくましくなっています。

担任の先生から「お母さん、今日、こんな事をしてみました！」と報告が入ると、「えっ」とびっくりしながらも、家族皆で取り組んでみました。逆に家で出来た事を先生に報告すると、学校でも同じ事に取り組んで頂けました。「和くん」と声掛けすると、左手をぐんと挙げて返事をします。「和くん、おはよう！」で左

手でタッチの挨拶、食事の時は手を合わせて「いただきます」。すごいです。きちんと理解して「ハイ」と左手を挙げて返事ができるようになりました。そればかりではありません。「こっちの手は？」と右手に触れると、ゆっくりですが、マヒのある右手を自分で動かします。オムツを替える時も声を掛けておしりに触れると、ぐっと力を入れておしりを持ち上げてくれます。

いろいろなことが出来る様になって「すごいいね、上手だね」と思いきりほめると、嬉しそうに満面の笑顔を見せてくれます。

生まれてすぐに脳内出血で大きな手術をして、寝たきりになるかもと言われた和樹が、一つずつ出来る事が増え、笑顔が増えました。皆様に感謝です。学校の先生方、児童発達支援センターめぐみ、ショートステイの方々、病院のスタッフの方々、支援して下さいているの方々、そして家族、皆様の協力があるからこそ、和樹が生き生きと成長し、頑張る事が出来ています。本当にありがとうございます。和樹の名前は平和の和、なごみの和、みんながなごみ、わになってその中心にある樹が和樹。名前の通り、和樹は私達家族に笑顔をくれ、優しい気持ちにさせてくれます。

まだまだ和樹は色々な事にチャレンジして頑張っていくと思います。これからの成長を一緒に見守って頂けると幸いです。

支援学校訪問教室



「美活同源」の姿を追い求め

「今日はめぐみに行く日だよ」・・・教室から楽しそうな声が響いてきます。今、児童生徒の多くが、放課後も様々な福祉サービス等を活用して、積極的にQOL向上に取り組んでいます。素晴らしいことだと思います。

恵の聖母の家の利用者並びに職員の皆様方には、平素から訪問教育学級の授業をはじめ、「ふれあい交流会」などの教育活動に深いご理解をいただき、心から感謝申し上げます。

本校では、「授業のわかる楽しい学校」づくりを進めています。児童生徒の社会参加と自立に向けて、様々な教育活動に取り組むなかで、「美活同源」の姿を求めてきました。「美活同源」とは、児童生徒一人一人が何か一生懸命に頑張っている姿には美しい姿があり、美しい姿があれば、そこには支援するたくさんの人たちが集まってくるということの意味します。明るく、強く、精一杯取り組む姿は、周りの多くの人々に勇気と感動を与えるものです。児童生徒一人一人が、自分自身の姿に誇りと自信を持ち、自分の目標へ挑戦してほしいと思い、その願いを発信し続けました。その方向性に対して、

多くの方々が関わって前向きな議論がなされたことは、発信し続けた教育をふりかえると同時に、子どもたちの未来の姿を考える貴重な機会でもあります。10年後、20年後の子どもたちの姿を思い描きながら、一人一人の頑張る姿を教職員一丸となって導く姿こそ、学校現場に求められる「美活同源」の姿であると考えます。

これからも、卒業生や保護者、地域の方々との交流の場を充実させ、特別支援学校の教育に関する理解啓発の場を拓いていきたいと思っています。協働共汗の心で「美活同源」の姿を追い求めるなかで、児童生徒が生き生きと学習し、それを支援する先生方も生き生きと教育活動を行い、それぞれが達成感・成就感を得られるような学校でありつづけるよう希求してやみません。

今後とも、ご指導並びにご協力を宜しく願います。

臼杵支援学校

校長 岡本美枝子



ぴかぴか ぴかぴか ぴかぴか

新しく入られたスタッフをご紹介します。

①お名前②職種③お住まい④趣味⑤一言



- ①国家豊臣（くにいえ とよみ）さん
- ②看護師
- ③大分市
- ④料理を作ること、家族とのドライブです。
- ⑤7月に入職になりました。色々学びながら頑張ります。

人事

新規採用

二〇一三年七月一日付

看護師 国家 豊臣

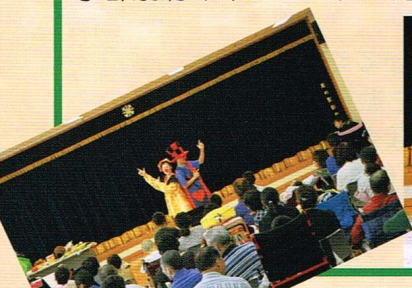
小児科医とあそぼう ○△□●▲■●▲■●▲■●▲■△□●▲

これは子ども達に医療を身近に感じていただくことと大分大学医学部が企画している活動で、毎年体育の日に行われています。今回は大分スポーツ公園で開かれました。今回、自分を含めて2名の保育士がボランティアという形ではありますが、参加させていただきました。他の医療関係機関等からも支援者が参加されていて、とても楽しい内容になっています。対象となる子どもたちの中には医療的ケアを受けている方もおられるので、毎回、活動内容はどのようなものが良いか、頭を使うところです。今回、私たちは“フライングディスク”と“めくってめくって”で遊ぶことにしました。フライングディスクはfrisbeeのような円盤を投げて、的に当てたり、輪の中を通したりするものです。より楽しんでもらおうと円盤に好きな色を子ども達に塗ってもらいました。“めくってー”の方は、バイキンマンとアンパンマンのカードをめくって遊ぶものです。どちらも自由に子ども達が遊んでくれました。親子で一緒に楽しむ姿もみられて、お父さんに投げ方を教わったり、上手くいった時には拍手をしてもらっていました。私たち保育士は病気の子どもの関わり、保護者との関わりを経験することができました。

この活動の中には、動物ふれあいがあり、大型犬2頭と小型犬2頭を連れたセラピストご夫婦が参加されました。初めて大型犬に触れる子どもたちは、目を輝かせながらそっと触ったり、抱っこしたり、小型犬には「かわいい」と声をあげて、犬と触れ合って大喜びでした。病気の子どもの達もはじめての経験でしたが、子ども自身が犬を散歩させたりと、犬に触れて癒されて笑顔いっぱいでした。参加された保護者、子ども達、スタッフの皆さん、大喜びで大盛況でした。私たち自身も他のスタッフの遊びや内容を参考にすることができました。とても貴重な時間を共有させていただき、ありがとうございました。（保育士 林 直見）

家族の日～ファミリー・フェスティバル～ 2013年9月14日▲■●▲

たくさんの人と親睦を深めることを目的に交流ホームでは催し物、病棟では入所者も含めて関係者の作品展示を行いました。催し物の内容は、①公開療育ピエロ②野津高校太鼓③カラオケ大会で、①では保育士、介護福祉士12名がピエロに扮して会場を楽しませてくれました。②では学校の統合により2013年度をもって閉校となる野津高校の生徒が演奏して下さいました。「そーれ!」「それっ!」と声をかけて演奏する姿は圧巻で、会場も静かに聴き入っていました。入所者の方もお礼の言葉の中で「熱心さや気合が太鼓に乗り移っているようだ」との感想を述べられていました。続く③では恵の聖母の家から、サザエさん家族になりきったグループ、ドレスを身につけて坂本冬美の♪また君に恋してる、♪きよしのずんどこ節、スーツ姿で♪雪国、そして“あまちゃん”の衣装に着替えての♪潮騒のメモリー、児童発達支援センターめぐみからは♪オー・シャンゼリーゼに合わせたダンスが披露されました。審査の後、「華やかだったで賞」「輝く笑顔だったで賞」等、各賞をいただきました。今年もたくさんのボランティアの方に協力していただきました。吉四六さんをはじめ、臼杵市社会福祉協議会の皆さま、別府大学短期大学部別府キャンパス、大分キャンパス、大分大学の皆さま、そしてバルーンアートの皆さまにはブードル等、風船で楽しい作品を作っていただきました。ありがとうございました。



行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊟…個別面談 ㊤…権利擁護・虐待防止部会 ㊦…全体朝礼 ㊧…労働安全衛生委員会 ㊨…リスクマネジメント部会 ㊩…入浴日

2013年12月			2014年1月			2月			3月		
1	日		1	水		1	土		1	土	
2	月	㊩	2	木		2	日		2	日	
3	火	㊦㊧	3	金	㊩	3	月	㊩	3	月	㊩
4	水	㊥ ㊩	4	土		4	火	㊦㊧㊨	4	火	㊦㊧㊨
5	木		5	日		5	水	㊥ ㊩	5	水	㊥ ㊩
6	金	㊩	6	月	㊩	6	木		6	木	
7	土		7	火	㊦㊧㊨	7	金	㊩	7	金	㊩
8	日		8	水	㊥ ㊩	8	土		8	土	
9	月	㊩	9	木		9	日		9	日	
10	火	◎	10	金	㊩	10	月	㊩	10	月	㊩
11	水	㊩	11	土		11	火		11	火	◎
12	木		12	日		12	水	㊩	12	水	㊩
13	金	㊩	13	月		13	木	行事委員会	13	木	
14	土	クリスマスの集い	14	火	◎ ㊩	14	金	㊩	14	金	㊩
15	日	誕生会	15	水		15	土		15	土	
16	月	㊩	16	木	行事委員会・㊨	16	日	誕生会	16	日	誕生会
17	火	◎	17	金	㊩	17	月	㊩	17	月	㊩
18	水	㊩	18	土		18	火	◎	18	火	◎
19	木	もちつき・㊨	19	日	誕生会	19	水	㊩	19	水	㊩
20	金	㊩	20	月	㊩	20	木	㊨	20	木	㊨
21	土		21	火	◎	21	金	㊩	21	金	
22	日		22	水	㊩	22	土		22	土	㊩
23	月		23	木		23	日		23	日	
24	火	サタフルゼト ㊩	24	金	㊩	24	月	㊩	24	月	㊩
25	水	クリスマスミサ・齋絵	25	土		25	火	◎㊥	25	火	◎
26	木		26	日		26	水	㊩	26	水	㊩
27	金	㊩	27	月	㊩	27	木		27	木	
28	土		28	火	◎㊥	28	金	㊩	28	金	㊩
29	日		29	水	㊩				29	土	
30	月	㊩	30	木					30	日	
31	火		31	金	㊩				31	月	㊩

※予定変更の場合があります。

編集後記

新たな年、2014年を迎える時期となりました。出会い等が多くある中、恵の聖母の家は今年、開設30周年を迎えることができました。来年度はこれまでの歩みも振り返りながら、その喜びと感謝を皆さまにお伝えできればいいなと思っています。新しい年が間もなく明けます。皆さまにとりまして良き年となりますように☆新しい年もよろしくお願ひ申し上げます☆ (SM)

※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。